

日本特別活動学会 重点課題研究プロジェクト申請書

提出日 西暦2022年 11月 21日

1. 研究代表者

氏名	長島明純	所属	創価大学
----	------	----	------

2. 研究課題名

特別活動の本質の探究と特別活動原理論の構築

3. 研究組織 ※欄が不足する場合は増やしてください。本学会員にはチェック☑をつける

氏名	研究分担者、 研究協力者の別	会員	所属
橋本勝	研究分担者	<input checked="" type="checkbox"/>	静岡県立大学
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	

4. 研究目的 ※何をどこまで明らかにしようとするのか具体的に記入してください。

子どもの生命や生活に着目し、特別活動の本質を学問的に探究することを通して、これからの社会と時代に要請される学校教育や教師教育の課題に応えることができる「特別活動原論」の構築を試みる。そのために、各時代を代表する特別活動の研究者、実践者の主要文献をもとに、それらの研究、実践がその時々々の社会状況、歴史的課題を踏まえて、どのような人間形成をめざして行われてきたのか、そこから浮き上がってくる特別活動の教育的意義を明らかにする。また特別活動の研究者や実践家の構想を支えた文化に着目し、特別活動の視点からの教育学や民俗学・文化人類学などへの検討や特別活動につながる他国の教育活動や公的學校以外の教育活動等の検討を通し、「特別活動学」とも言えるような、学習指導要領の枠に留まらない、新しい特別活動研究の展望を拓き、これからの学校教育において求められる特別活動の役割を提示する。

5. 対応する重点課題 ※①～④の数字を記入する

③

- ①学校での実践を活性化するための研究
- ②特別活動の担い手を育てるための研究
- ③特別活動の意味と機能を明らかにするアカデミックな研究
- ④次期学習指導要領の「特別活動」の構造と内容を提言する研究

6. 研究期間及び計画 ※具体的に箇条書きにしてください。

研究期間: 2023年 4月～ 2025年 3月(2 年間)

①各時代を代表する特別活動の研究者、実践者の主要文献をもとに、それらの研究、実践がその時々々の社会状況、歴史的課題を踏まえて、どのような人間形成をめざして行われてきたのか、そこから浮き上がってくる特別活動の教育的意義を明らかにする。(主に1年目)

②特別活動の視点からの教育学や民俗学・文化人類学などへの検討や特別活動につながる他国の教育活動や公的學校以外の教育活動の検討を行う。なお特別活動の研究者のライフヒストリーを取り上げ、その研究の基盤となった文化や学問について語っていただくなどもする。(主に2年目)

7. 研究成果を学会員や社会へ還元する方法
 計画されているものに☑してください。

		学会・雑誌名・時期など
<input checked="" type="checkbox"/>	年次大会や研究会等での発表	日本特別活動学会
<input checked="" type="checkbox"/>	学会誌への投稿	
<input type="checkbox"/>	オンライン研究会などの開催	
<input checked="" type="checkbox"/>	研究成果報告冊子／書籍の発行	
<input type="checkbox"/>	その他	

8. 研究費助成の希望 選択→ 有 有を選択した場合、別タブの「予算申請書」を作成してください。

9. 科研費申請の有無
 選択→ 科研費申請の予定はない

10. 研究誓約事項

チェック

- ・日本特別活動学会の研究倫理規定を熟知している。
- ・研究対象のプライバシー保護など人権に配慮して研究を進める。
- ・研究費を適正に使用する。
- ・成果発表において盗用・剽窃などの研究倫理違反をしない。
- ・年度末に研究成果報告書を提出する。
- ・研究倫理に関する上記のルールを研究分担者および協力者にも順守させる。
- ・本申請書を研究代表者のメールアドレスから添付ファイルで送信したことをもって、上記の誓約書に同意したこととする。